

# 県民の友

発行/和歌山県 知事公室 広報企画課 〒640 和歌山市小松原通1の1 ☎0734(32)4111

昭和59年  
10月号

秋  
青空にシート



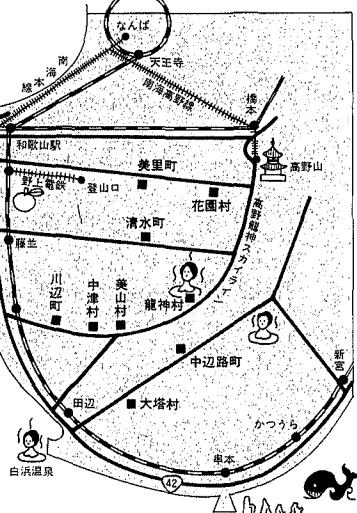
澄みきつた空氣。  
抜けるような青い空。  
外へ出て思わず身体を動か  
したくなる季節です。  
うまくなくてもいいんです  
充実感さえあつたら、  
たとえ負けてもいいんです  
みんなで楽しめれば。  
今、秋は、まっさかり  
老いも若きも外へ出て  
汗を流してみませんか。

# 山村と都市を結ぶかけ橋 ふれあい—木の国◇大阪

## 山村と都市の交流イベント'84

緑なす山々、豊かな自然は、和歌山県の自慢の一つ。農林産物の宝庫である山村は、うるさいのある豊かな生活を営むためにかけがえのない地域です。

日ごろ味わえない山村生活の体験を通して、山村のよさを都会の人たちに理解してもらい、山村と都市の相互の活発な交流をするため、次のエベントが実施されます。



### 山村列車「木の国号」

●期間 11月15日～17日  
2泊3日

- コース 美里町コース=「つれもしでいこら」のとりとふれあいの美里
- 花園村コース=みどりと人の調和をめざして
- 清水町コース=人情と歴史の山里で手づくり体験やふるさと料理を味わってみませんか
- 川辺町コース=スポーツと自然探勝・光と風の町
- 中津村コース=り縁と文化の里
- 美山村コース=歴史とロマン

### ふれあいシンポジウム

●日時 11月17日(土)午後0時50分から

## 10月18日は統計の日

統計は、経済や社会の今後の予測、明日の暮らしを考えるためにも欠かせません。

日本は、統計先進国です。みなさんも、統計調査にご協力を。

●内容 郷土芸能、記念講演、パネルディスカッション

●参加者 全国の山村関係者を含む大阪と和歌山の住民 約600人

※山村と都市の交流のあり方などを話し合い、お互いの理解を深めます。

### 紀州の山村博

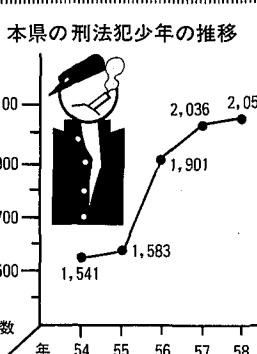
●期間 11月15日～20日

●場所 高島屋大阪店(難波)

### ふれあい広場

ふれあい広場(パネルなどを展示して、山村紹介を通じ、ふれあいを深める)、ふるさと茶屋(ふるさとの味を味わってもらう)、わんぱく広場(遊び道具の手作り体験)、実演コーナー(紙つきなどの実演と販売)、観光コーナー、ふるさと産品販売コーナーなど。

「ふれあいシンポジウム」「紀州の山村博」については、多数のみなさんのご参加をお願いします。



- 非行のトップは14歳。
- 刑法犯検挙人員の約56%。
- 窃盗に至つては全体の約86%。

●感受性の強い少年たちの性的感情を刺激したり粗暴性を助長する有害図書やがん具類を追放しましょう。

十月十一日から二十日までの十日間、全国防犯運動が行われます。

一人ひとりの防犯意識を高め、安全で住みよい地域社会をつくることを目的に始めたこの運動も、今回で八回目になりました。

最近の、性を売りものにした営業や少年のたまり場となる娯楽施設の増加など、少年たちを取り巻く社会環境が悪化し、その非行が深刻な社会問題となっています。

そこで、今は、その非行に焦点をあて、「少年を取り巻く社会の育つ環境について真剣に考え、環境の浄化」を重点目標として取り組むことになりました。

**考  
え  
こ！  
ぼくらが育つ  
環境を**

環境を



●少年たちにとって有害と思われるものを見かけたときは、すぐ警察などに通報しましょう。

●地域ぐるみで防犯運動を展開しましょう。





フクロジー

# 歩いてみませんか



宣言！ ほくたちは自然を  
大切にすることを誓います



みんなで並んでお弁当

おじいちゃんも元気にテクテク



延々と続く列。今まで63,000人が参加した

**いつも参加しています**  
**テクフロジー毎回参加者の声**



山 畑 久 雄さん(74)  
(和歌山市)

私は歩くことが好きで、和歌山テクフロジーグループのお世話をさせてもらっています。毎朝三時半に起きて和歌山城へ行き、仲間と一緒に日課です。

お金を使って遠方へ行かなくても、テクフロジーに参加すれば、自分たちの生まれた和歌山に、こんな感じがあつたのかとわかり楽しいですね。

テクフロジーにはじゅうを持って行き、コースの途中のお寺やお墓などに向かいしります。県内にはまだ知らないところがありまして、体が続かざり、何回かでも参加するつもりです。



南 方 隆一さん(56)  
(貴志川町)  
康 平さん(22)  
(貴志川町)

私たち親子で第一回から参加しています。仕事が忙いので、野山を歩けば気分転換になると思って参加したのが最初ですね。当時、子どもは小学校六年だったんですね。今では仲間、「兄ちゃん大きくなつたな」といわれます。岩出や和歌山の電器店の同業者も大勢参加するようになり、アマチュア無線の機械をぶらさげてワーハイながら楽しんでいます。

北山村で開かれたときほ村をあげての

## 召 介

高牟(町) 約14.5km  
部町・南部川村(村) 約16km  
5km  
約12.5km

**流をたずねて**  
八弁財天(美里町) 約13.5km  
川(清水町) 約16km  
山村(村) 約36km  
龍神村(村) 約9km  
神村(村) 約26km  
大塔村(村) 約7.5km  
さくの滝(すさみ町) 約22.5km  
ト(古座川町) 約19.5km  
村(村) 約21.5km

## を求めて

墓の谷(和歌山市) 約14km  
・山田ダム(貴志川町・桃山町) 約19km  
(海南市) 約18km  
上町・金屋町(清水町) 約13km  
岩(田辺市) 約11km

西牟婁郡すさみ町見老津にある畜産試験場。68・9畳の敷地にして設立され、22年には白浜町に移転。現地に移ったのは昭和43年のことです。

ここでは牛、豚、いのぶたの飼育、種畜の配布、牛や豚の品種改良などを実行しています。そのほか高齢者の生きがい対策として、牛

などを飼うお年寄りの指導をしたり、高校の農業科の実習指導もあります。

今年の4月に畜産試験場を訪れた中国の梁歩庭山東省長は蒙古方面にいたこともあるとかで、牛や豚にはとてもくわしく、施設に強い関心を示されたとのことです。

飼料関係の研究もさかんで、ミカンのカスの利用など、安い飼料の開発にも取り組んでいます。

施設紹介シリーズ  
畜産試験場



10周年を迎えた自然愛護

# さわやかな秋



10年間で歩いた距離は500キロ以上



見晴らしのよいところで休憩



雑賀芳子さん (60)

(和歌山市)

うちには洋品店をや  
つっているんですねが、自分の店の服が着られなかつたので、も  
つひやせようと思つて参加しました。大売り出しの真中に、主人に店をまかせ  
て行つたこともあります。百間山渓谷の健脚コースを歩いたのが  
印象に残つています。とてもきれいでス  
テキでした。煙樹ヶ浜では地元の方に干  
し魚を焼いてもらいました。自分の知らないところへ連れて行つて  
もらえるのが楽しみで、今度はどうでや  
るのかと楽しみにしていました。

空青し、山青し、海青し——本県は吉野熊野、瀬戸内海の一つの国立公園と高野龍神国定公園、それに十地域の県立自然公園など豊かな自然に恵まれています。

この自然に親しみながら、みんなで楽しくテクテク歩こうと昭和四十九年に始まつた自然愛護テクロジー。小学生から八十歳以上のお年寄りまで、毎回平均千五百人が参加しています。コースは市町村の推せんを受け、県が選んだ「ふるさと歩道」を中心につだれでも楽しく歩けるところを実施していきます。

さわやかな秋。あなたも自然の中を歩いてみませんか。

## 自然愛護テクロジー10周年記念大会

### 歴史の道「熊野古道」近露→古道ヶ丘

日時／11月25日午前10時 集合／中辺路田近野若もの広場 ※バス増便の関係で今回は申し込みが必要です。ハガキに交通手段を書いて11月10日までに下646 田辺市朝日ヶ丘23-1 西牟婁郡事務所産業課へ。

住回、感謝してしまひ、「止駈海岸」と進む  
寺のときもたれこも訴えているんです。が、  
貴志川も貴志川が今ばかりは困り、地  
もつとテクロジーの輪が広がつて、自  
然を大事にしてくればと思います。

# ふ る さ と 歩 道

## ○熊野への道に沿つて

藤白・長保寺（海南市・下津町）約12km①

口くまの古道（田辺市）約9.5km②

中辺路街道（中辺路町）約30km③

本宮王子めぐり（本宮町）約8.5km④

大雲取・小雲取越え（那智勝浦町・熊野川町・本宮町）約34km⑤

熊野古道と那智高原（那智勝浦町）約9km⑥

大辺路街道（富田坂）（白浜町・日置川町）約9km⑦

熊野神邑めぐり（新宮市）約8.5km⑧

## ○高野への道

高野山町石道（九度山町・かつらぎ町・高野町）約24km⑨

不動坂口街道（橋本市・九度山町・高野町）約13.5km⑩

## ○紀の川に沿つて

四郷古里（かつらぎ町）約19.5km⑪

紀泉高原かつらぎ山（那賀町・粉河町・打田町）約26km⑫

長田観音・粉河寺・龍門山（粉河町）約16.5km⑬

根来寺・土佐崎（岩出町・打田町）約11km⑭

## ○潮さいを聞きながら

友ヶ島（和歌山市）約5km⑮

オレンジウエイ（有田市）約10km⑯

白崎海岸（由良町）約13km⑰









## 新装オープン 真静荘

西牟婁郡白浜町椿にある海と山に恵まれた老人休養ホーム「真静荘」。昭和42年に開設以来延べ42万人のみなさんに利用していただきましたが、今回、明るい雰囲気の中で、よりゆっくりとくつろいでいただこうと、6月より全面改装し9月11日にオープンしました。

☎ (0739) 46-0314

[白浜町]



## 大自然に学ぼう 第1回 子どもフェスティバル

8月25日、26日、吉備町の有田川河原で町内の小学生と幼児、600人が集まって第1回子どもフェスティバルが開かれました。

わんぱくコーナー、動物コーナー、大声コンテスト、地震体験などの催しの後、夜は子ども祭り、ウ飼い見物、映画会などを楽しみ、記念にコイ二千匹を有田川に放流しました。

[吉備町]

あ と カ き

健康であるということは、本当に難いことです。特に運動会のシーズンになりますと、このことを一層強く感じます。

四、五面でテクニカルジーランを記念して、ふるさと歩道36コースを紹介しましたので、この秋、もう一度思い出の場所を散策してみてはいかが。

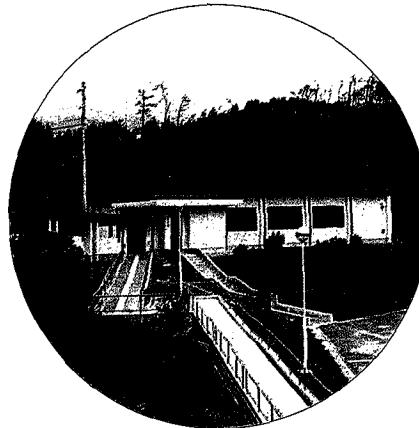
○今月号から八面で、ふるさとの民話シリーズを始めました。あちこちに語りつがれてきた民話は、あるさとを味わい深いものにしています。ぜひ、ご愛読を。



## お年寄りと子どもの交流会

新宮市広角の農家高齢者創作館で、地元のお年寄りと子どもの交流会が開かれました。この交流会は古くから伝わる生活の知恵や伝統を残そうという目的で、今回は麦わらを利用したかご作り。麦わらを見るのが初めてという子どもがほとんどでお年寄りから編み方の指導を受けながら、熱心に取り組んでいました。

[新宮市]



[かつらぎ町]

**肉用牛団地が完成**

山村での農業の振興を図るために中津村と農協が計画を進めていた肉用牛団地がこのほど完成。すでに約500頭の肉牛が飼育されています。これは日高川沿いの山あい、小笠本地区にできたもので、総事業費は三億一千万円。管理は村の肉用牛生産組合が行います。三年後には730頭(近畿一の規模)まで増やす予定です。わらなどの粗飼料は地元農家で調達。たい肥は農家に還元するなど、村ぐるみで将来有力な地場産業に育てたいと意気込んでいます。



## 一枚岩

古座川町相瀬



シリーズ1  
ふるさとの民話